

国立病院・療養所の現状

目 次

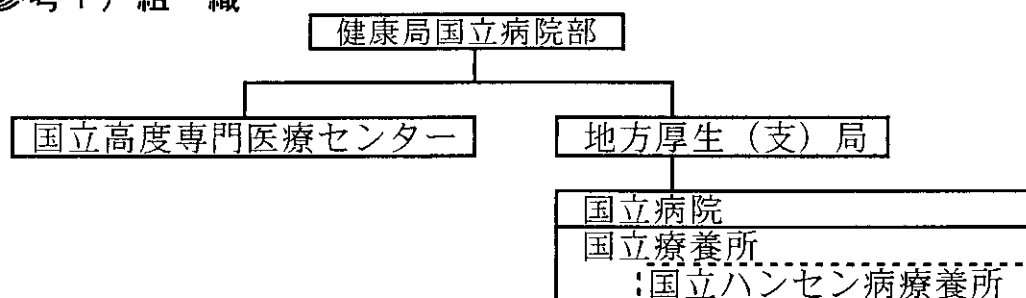
1	国立病院・療養所の現状について	
(1)	概要	1
(2)	国立病院・国立療養所施設所在地	2
(3)	国立病院・療養所の全病院に占める割合	3
(4)	平成13年度組織・定員の現状	4
(5)	国立病院組織の例	5
(6)	主要病院、企業等との規模の比較	6
(7)	一般病院の開設者別入院患者100人当たり職員数	7
2	政策医療の推進について（政策医療ネットワークの構築）	8
3	国立病院・療養所の再編成について	13
4	国立高度専門医療センターについて	15
5	看護婦等の養成について	17
6	国立病院・療養所の財政状況について	
(1)	平成13年度国立病院特別会計予算の概要	18
(2)	国立病院特別会計予算の経費の概要	19
(3)	経営費の構成	20
(4)	国立病院特別会計歳入（内訳）の推移	21
(5)	国立病院・療養所の経常収支率の推移	22
7	健全な労使関係の確立について	23

1 国立病院・療養所の現状について

(1) 概要

- 昭和20年に旧陸海軍病院等を引き継いで発足し、結核医療等国民医療の確保に貢献。
 - ア. 国立高度専門医療センター ----- (がん、循環器病などの特定疾患に関し、全国の中心的機関として、高度先駆的医療、調査研究、技術者の研修を実施。
 - イ. 国立病院 ----- (広域を対象とした総合診療、臨床研究、養成、研修等を実施。
 - ウ. 国立療養所 ----- (結核、重症心身障害、進行性筋萎縮症、神経難病等に対する専門的医療等を実施。
- 国立病院・療養所の病床数の全病床数に占める割合は、公私立病院の拡充により、発足当初の約30%から約5%に減少。
このため、従来の量重視から質重視へ転換を図っているところ。

(参考1) 組織



(参考2) 施設数及び病床数

(平成12年度末現在)

区	分	施設数	病床数
国立高度専門医療センター	国立がんセンター	1	1,025
	国立循環器病センター	1	640
	国立精神・神経センター	1	1,579
	国立国際医療センター	1	925
国立病院		71	28,616
国立療養所		133	43,526
(うち国立ハンセン病療養所)		(13)	(4,769)
計		208	76,311

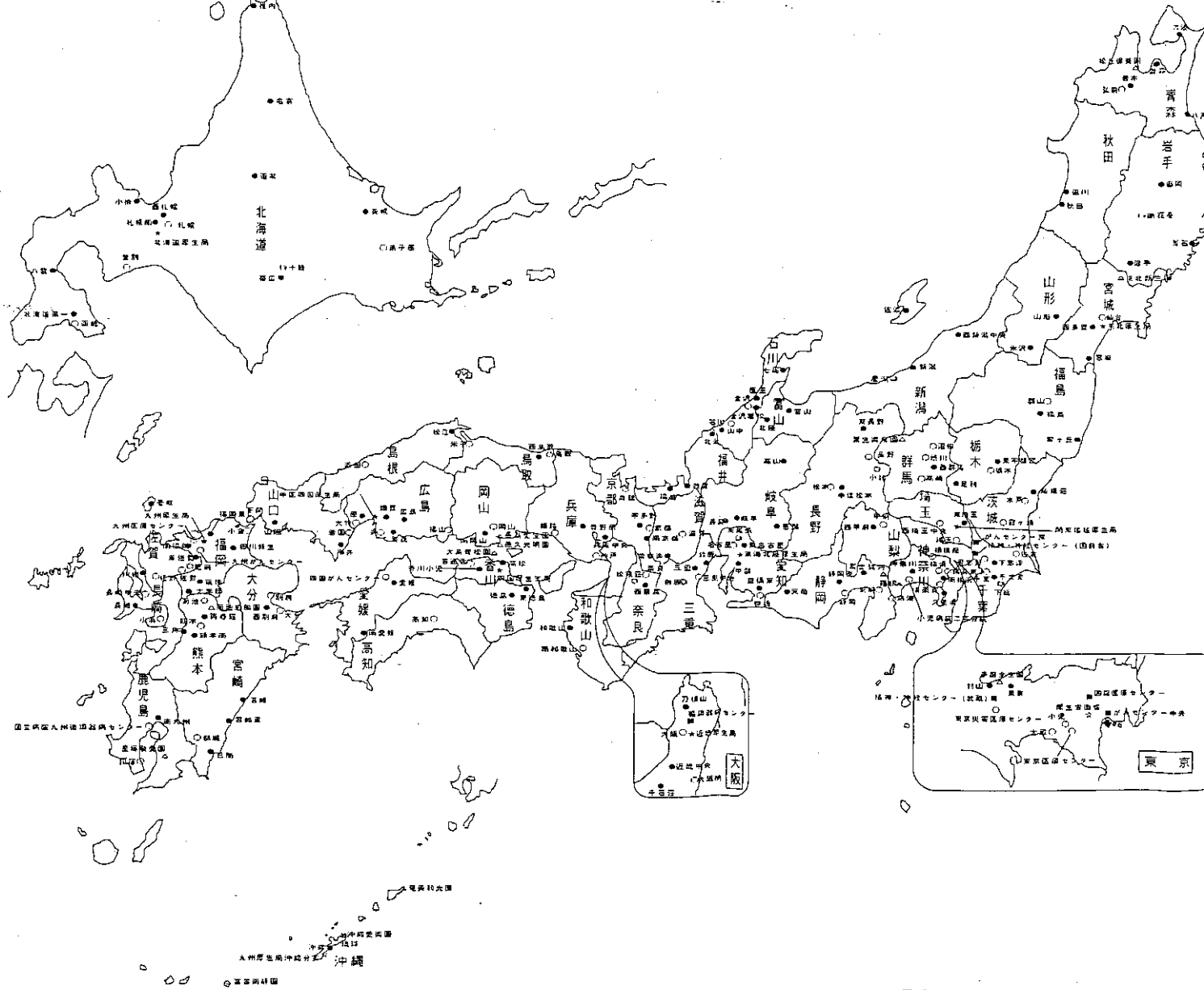
(注) 国立高度専門医療センターは、上記4センターの他、国立成育医療センター(平成14年3月)及び国立長寿医療センター(仮称)を設置予定。

(参考3) 職種別職員数

(平成12年度末定員)

医 師	看 護 婦	医 療 技 術	事 務	そ の 他	合 計
6,028	30,060	5,258	4,418	7,407	53,171

(2) 国立病院・国立療養所施設所在地



- 凡 例
- 国立高度専門医療センター
 - 国立病院
 - 国立療養所
 - (精神)
 - (ハンセン)
 - (結核)
 - ☆ 厚生労働省
 - ★ 地方厚生局

厚生労働省健康局国立病院部経営指導課編

平成13年3月1日現在

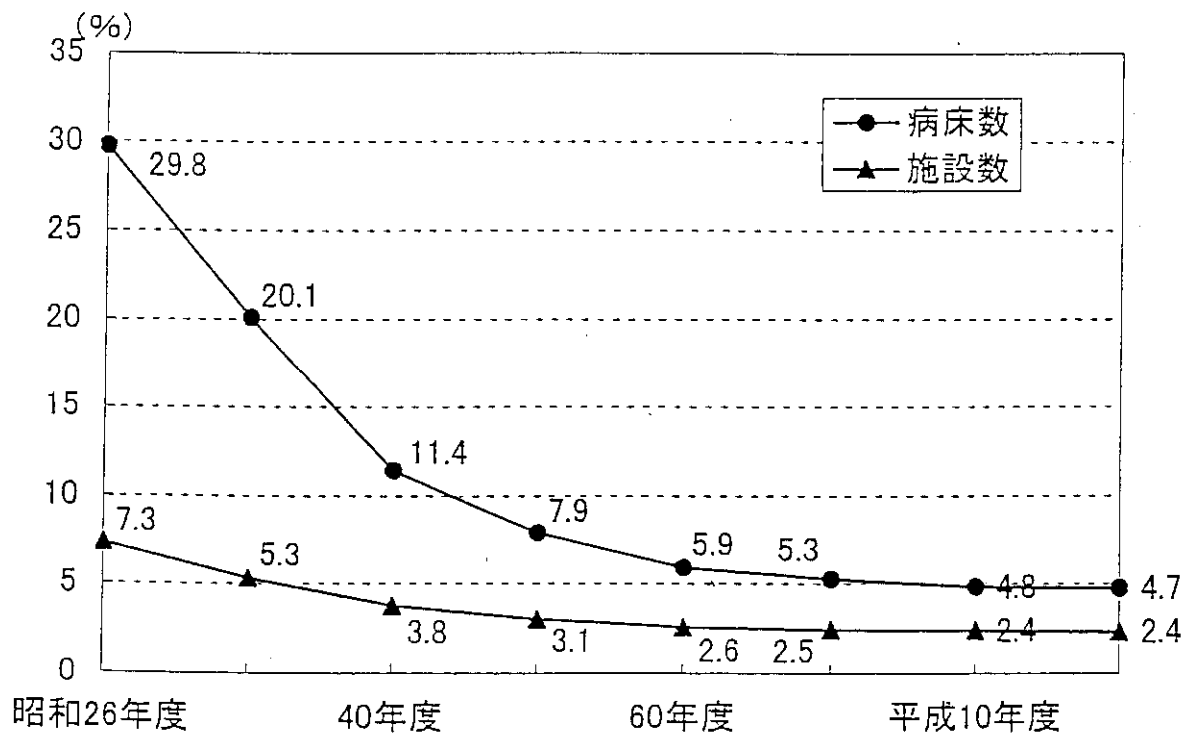
(3) 国立病院・療養所の全病院に占める割合

国立病院・療養所の病床数が全病院の病床数に占める割合は、発足当初の約30%から約5%へと大きく減少

・昭和26年からの推移

年次	施設数			病床数		
	国立病院・療養所	全 国 施 設 数	全体に占める割合	国立病院・療養所	全 国 病 床 数	全体に占める割合
26	279	3,796	7.3%	93,310	313,545	29.8%
30	272	5,119	5.3	103,158	512,688	20.1
35	271	6,094	4.4	103,270	686,743	15.0
40	267	7,047	3.8	99,790	873,652	11.4
45	260	7,974	3.3	91,880	1,062,553	8.6
50	254	8,294	3.1	92,313	1,164,098	7.9
55	253	9,055	2.8	89,795	1,319,406	6.8
60	252	9,608	2.6	88,558	1,495,328	5.9
元	250	10,081	2.5	87,567	1,661,952	5.3
8	239	9,490	2.5	82,235	1,664,629	4.9
9	233	9,413	2.5	80,858	1,660,784	4.9
10	228	9,333	2.4	79,655	1,656,415	4.8
11	220	9,286	2.4	78,192	1,648,217	4.7

(注) 全国病院数及び病床数については、「平成11年度医療施設調査・病院報告の概要」に基づく。それ以外については国立病院部調べによる。



(4) 平成13年度組織・定員の現状

① 施設数、定床及び定員

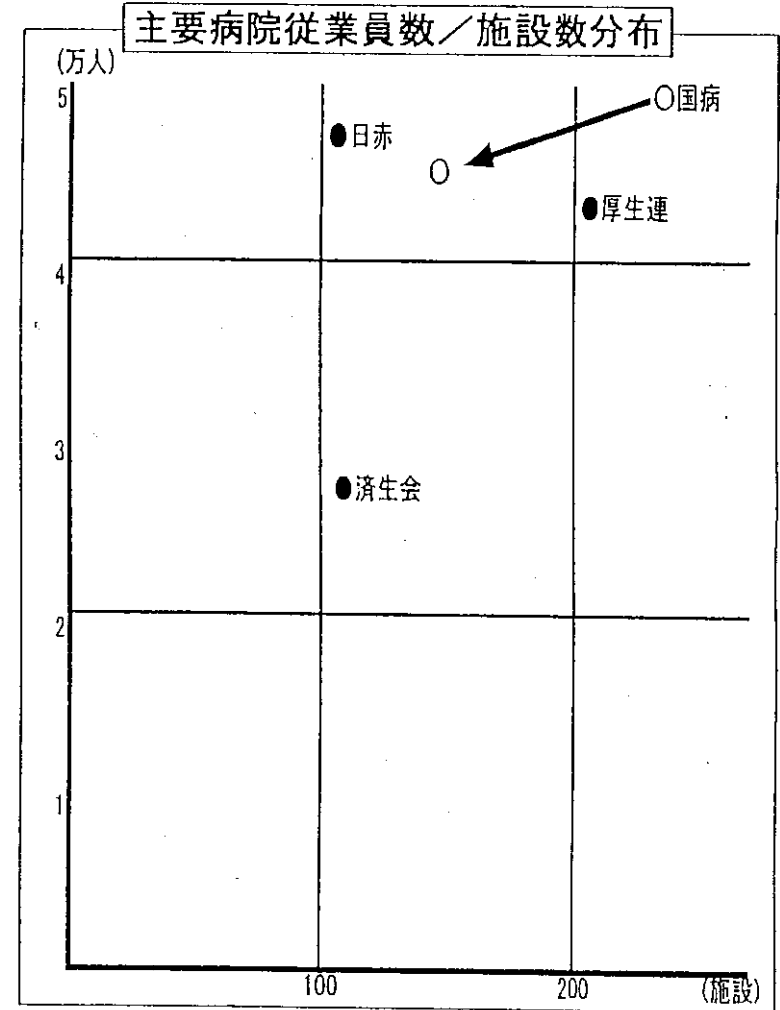
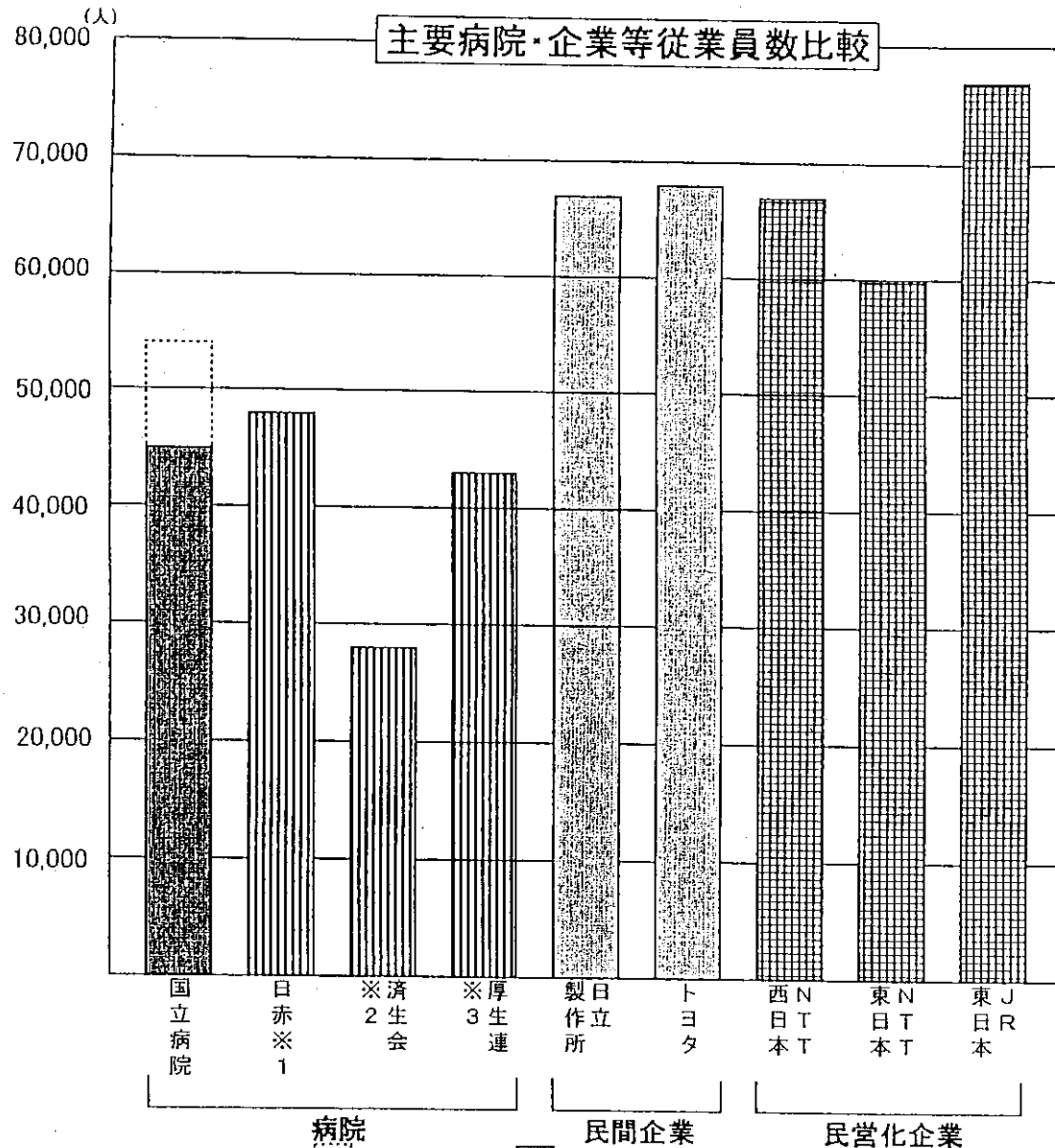
区 分	施設数	定 床		定 員
		入 院	外 来	
国 立 病 院	か所 67	床 27,586	人 33,516	人 20,431
国立がんセンター	1	1,025	1,100	1,196
国立循環器病センター	1	640	800	951
国立国際医療センター	1	925	1,100	1,000
国立成育医療センター	1	500	900	678
国 立 療 養 所	119	38,727	—	24,567
国立精神・神経センター	1	1,579	—	929
国立ハンセン病療養所	13	4,526	—	3,157
計	204	75,508	37,416	52,909

② 定員の内訳

区 分	総 数	内 訳							
		医 師	看護婦	薬剤師	放射線技師	その他の医 療技術職員	事務職員	分務等職員	その他
国 立 病 院	人 20,431	人 3,174	人 11,588	人 437	人 657	人 1,382	人 1,385	人 1,462	人 346
国立がんセンター	1,196	178	606	23	49	69	71	65	135
国立循環器病センター	951	130	505	16	35	70	51	44	100
国立国際医療センター	1,000	160	561	21	25	50	75	48	60
国立成育医療センター	678	126	390	12	13	30	46	28	33
国 立 療 養 所	24,567	2,105	14,850	337	364	1,407	2,411	2,867	226
国立精神・神経センター	929	97	522	16	12	56	71	77	78
国立ハンセン病療養所	3,157	144	1,096	37	17	126	212	1,516	9
計	52,909	6,114	30,118	899	1,172	3,190	4,322	6,107	987

- (注) 1. 「事務職員」には、ケースワーカー・保育士・児童指導員等の技術職員及び国立高度専門医療センターの総長・局長・校長を含む。
2. 「その他」は、研究職（国立高度専門医療センターの研究所長を含む）及び養成所講師である。

(6) 主要病院、企業等との規模の比較



○独立行政法人に移行する
施設数は144を予定

(国立病院部調べ、平成12年11月現在)

(注) 国立病院について、は現在の職員数 は独立行政法人移行時の職員数

※1: 日本赤十字社

※2: 社会福祉法人恩賜財団済生会

※3: 全国厚生農業協同組合連合会の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会

(7) 一般病院の開設者別入院患者100人当たり職員数(11年度)

(単位:人)

経営主体名	医 師	看 護 婦	医療技術職員	事 務 職 員	看護補助等 その他の職員	計
国(大学病院等)	38.5	67.4	18.8	17.0	10.5	152.1
都 道 府 県	16.0	82.1	19.8	9.6	13.6	141.2
市 町 村	14.7	77.3	19.4	11.9	16.2	139.6
日 赤 ※1	15.9	78.5	18.3	15.3	16.5	144.5
済生会及び 北社協 ※2	14.5	73.9	19.6	14.3	17.5	139.9
厚生連 ※3	12.8	75.0	20.8	13.9	18.5	141.0
計	18.3	76.5	19.4	12.9	15.3	142.3
国 立 病 院	12.8	58.7	11.5	8.1	11.1	102.1
国 立 療 養 所	5.9	51.4	7.0	8.9	14.6	87.8

資料:厚生労働省大臣官房統計情報部「医療施設調査・病院報告」

(注) ※1:日本赤十字社

※2:社会福祉法人恩賜財団済生会及び社会福祉法人北海道社会事業協会

※3:全国厚生農業協同組合連合会の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会

2 政策医療の推進について（政策医療ネットワークの構築）

（1）政策医療の遂行

地域における基本的・一般的医療の提供は他の公私立医療機関に委ね、国立病院・療養所は、広域を対象とした高度又は専門医療など、国の医療政策として担うべき医療（政策医療）を担当。

国立病院・療養所の担うべき医療

- ア がん、循環器病などに対する高度先駆的医療
- イ エイズ、ハンセン病、結核など歴史的・社会的な経緯等により地方・民間での対応が困難な医療
- ウ 国際的感染症、広域災害への対応など国家の危機管理や国際貢献
- エ 診療報酬支払方式に関するモデル的試行、国家的見地から重要な医療政策の実践

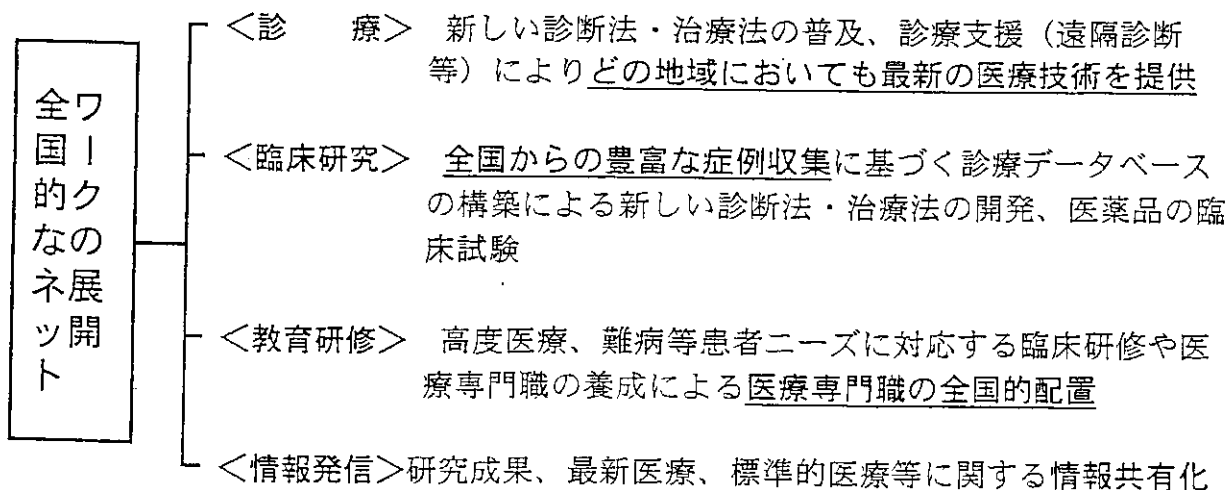
（2）政策医療の範囲

<政策医療分野【19分野】>

がん、循環器病、精神疾患、神経・筋疾患、成育医療、腎疾患、重症心身障害、骨・運動器疾患、呼吸器疾患、免疫異常、内分泌・代謝性疾患、感覚器疾患、血液・造血器疾患、肝疾患、エイズ、長寿医療、災害医療、国際医療協力、国際的感染症

* 結核は、原則として都道府県毎に1カ所に集約化

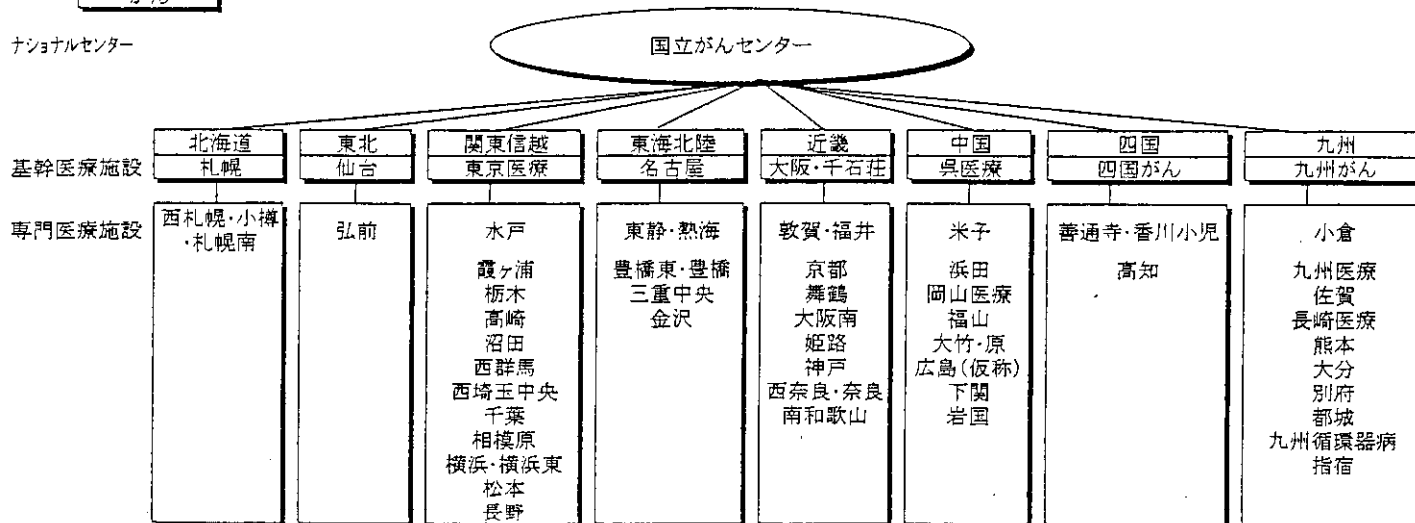
（3）政策医療ネットワークの構築



分野別の政策医療ネットワーク

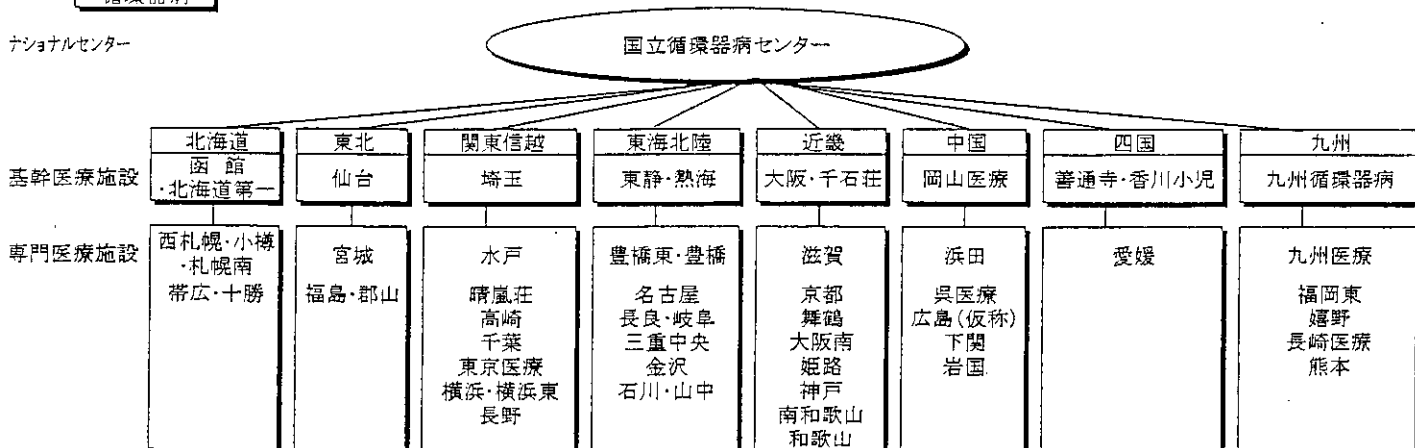
がん

ナショナルセンター



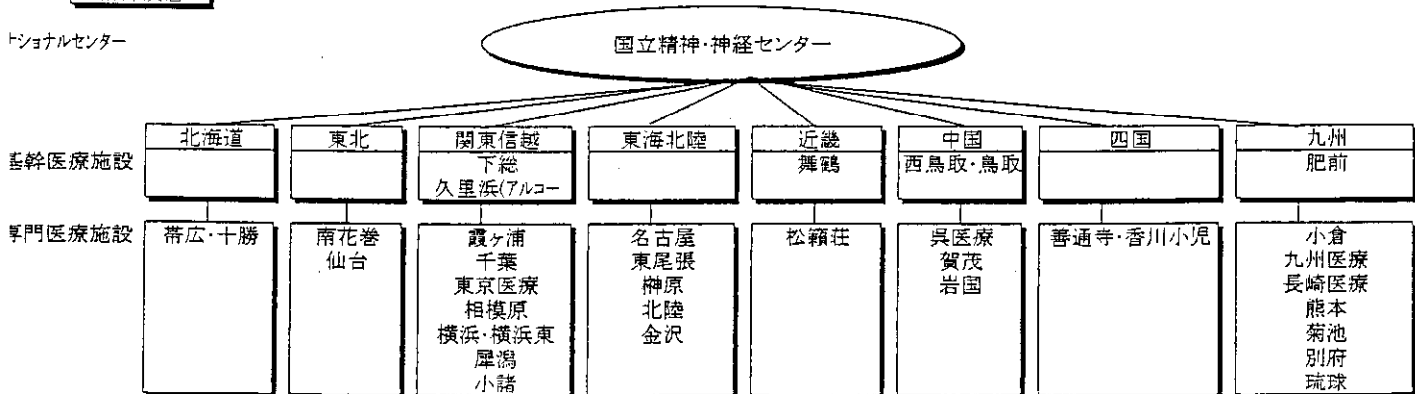
循環器病

ナショナルセンター



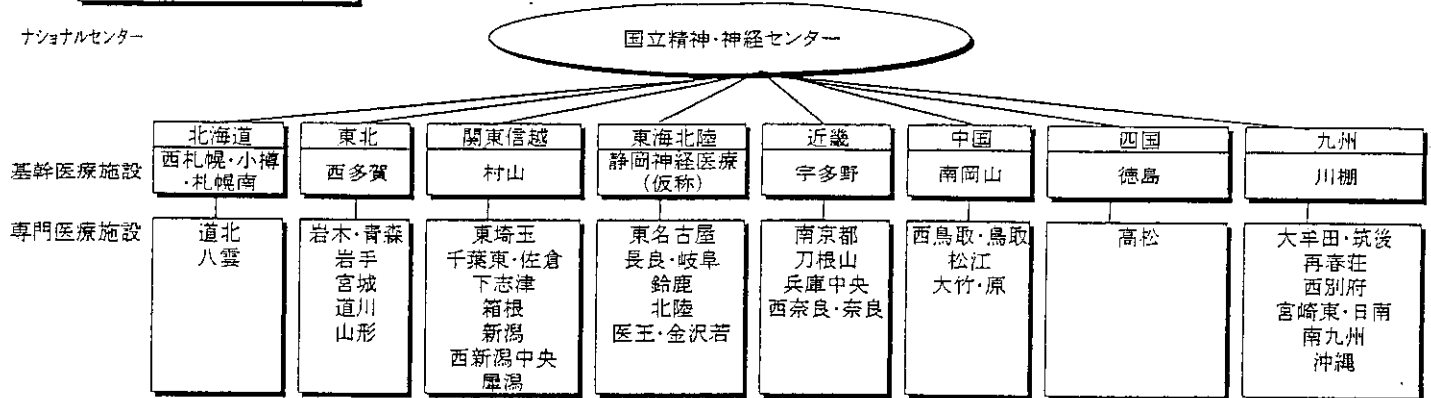
精神疾患

ナショナルセンター



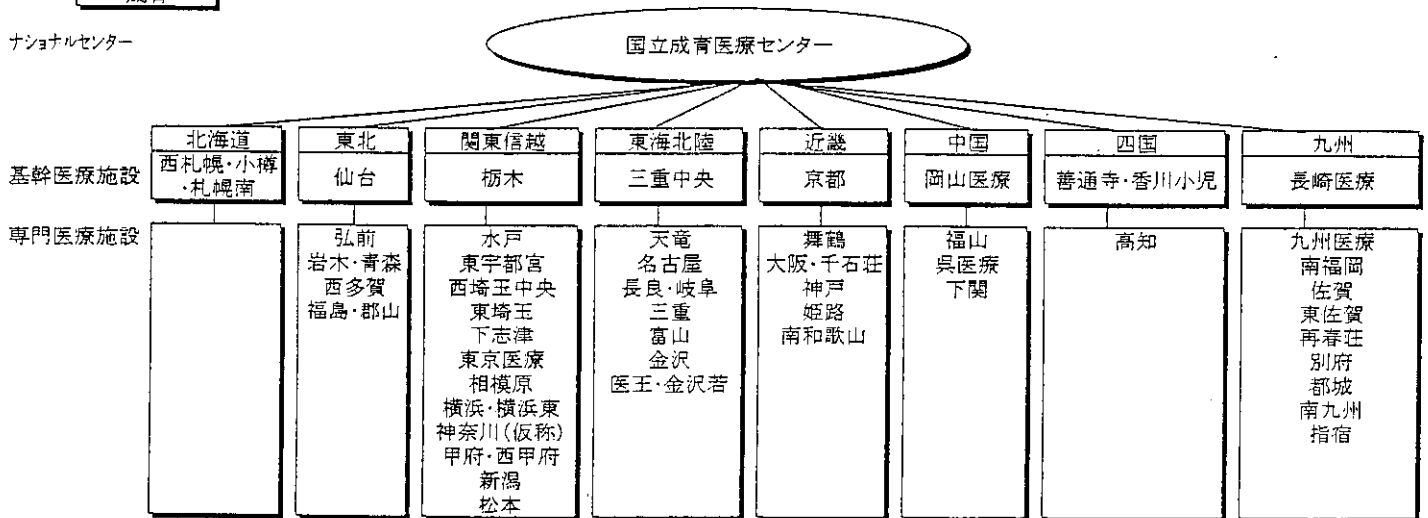
神経・筋疾患(筋ジスを含む)

ナショナルセンター



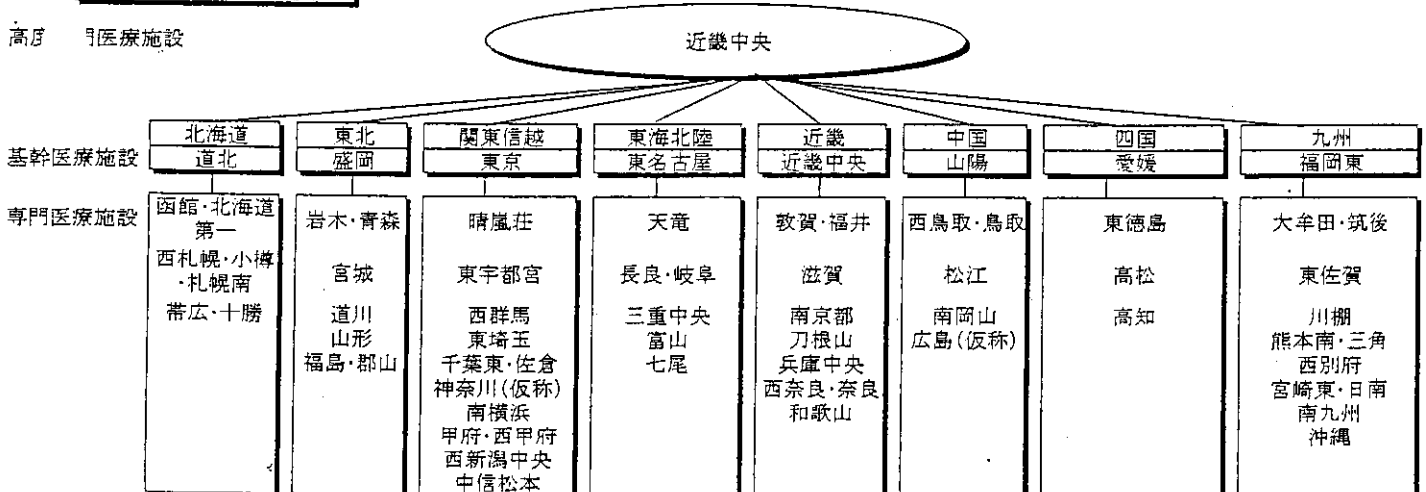
成育

ナショナルセンター



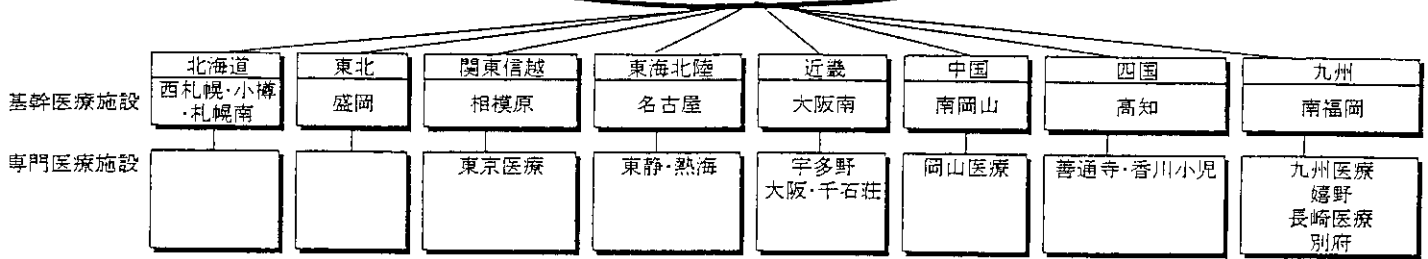
呼吸器疾患(結核を含む)

高度医療施設



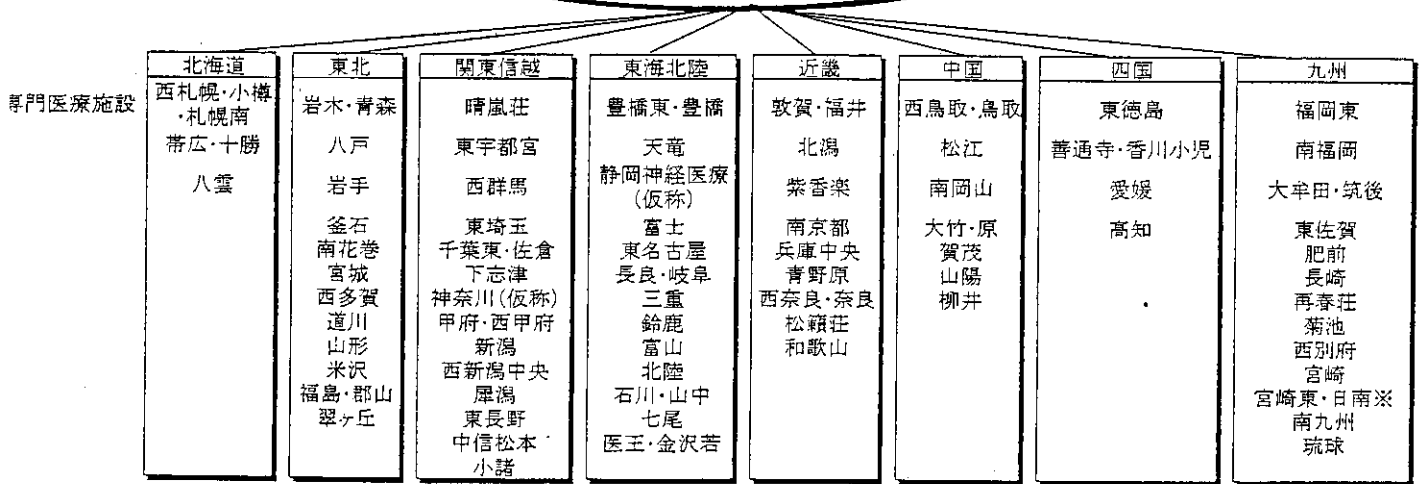
免疫異常

高度専門医療施設



重心

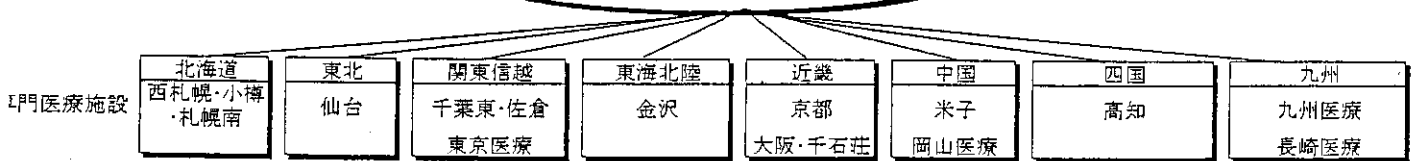
フシヨナルセンター



※宮崎東・日南については、重心の体制の整備を行わない基本構想を公表

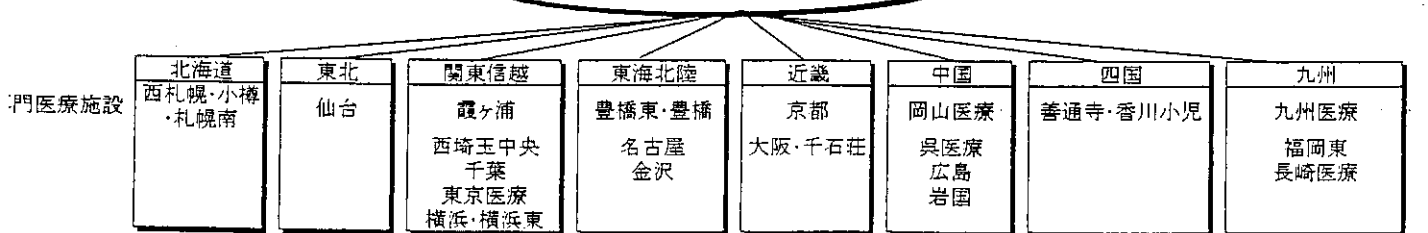
腎疾患

5度専門医療施設



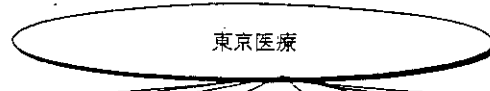
内分泌・代謝疾患

3度専門医療施設

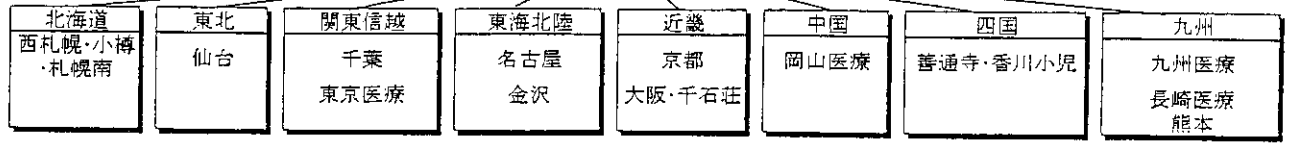


感覚器疾患

高度専門医療施設



専門医療施設

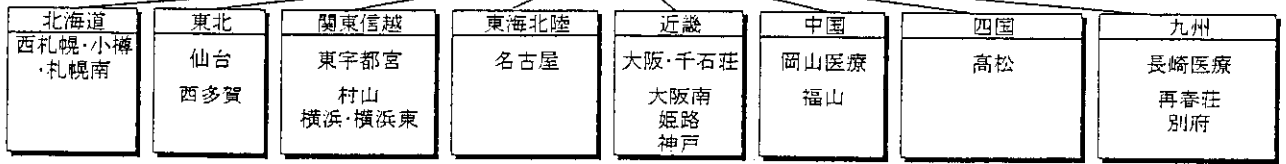


骨運動器疾患

高度専門医療施設

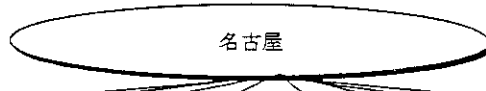


専門医療施設

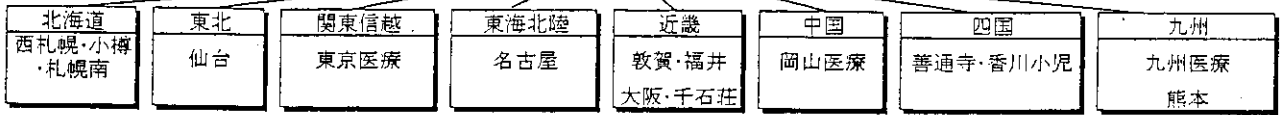


血液・造血器疾患

高度専門医療施設

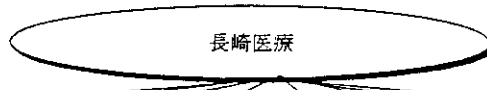


専門医療施設



肝疾患

高度専門医療施設



専門医療施設

